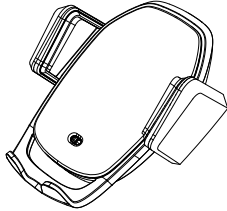


取扱説明書 KW-37 Qi 自動開閉ホルダー 手帳対応 キャパシタ付 エアコン取り付け

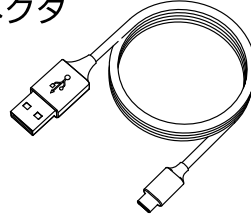
取扱説明書をよくお読みになり、正しく取り付けご使用ください。

同梱品一覧 ※開梱したら、同梱品がすべてそろっていることと、本製品に損傷がないことを確認してください。
万一、不足や不良がある場合は、当社又は、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

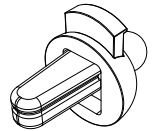
■本体



■Type-C コネクタ
ケーブル



■エアコンクリップ



ご注意

- 取付箇所やその周辺は取付跡が残ったり破損したり損傷する可能性があります。
- 運転の妨げになる場所や危険と思われる場所、(エアバッグ・シートベルト等)の作動効果の妨げになる場所には取り付けないでください。
- スマートフォンケースが極端に厚い場合、充電できない場合があります。
- 本製品に Qi 規格準拠の端末 (スマートフォン) 以外を置かないでください。ホールド可能な幅は 62mm~88mm です。
- 磁気カードや磁気記録メディア、精密機器など磁気の影響を受けるものは本製品に近づけないでください。
- 端末の充電口に充電ケーブルを接続している状態で、本製品に置かないでください。
- 端末を置く位置によっては適切な充電ができない場合があります。
- 充電中に通信品質やワンセグ受信状態などが悪くなる場合があります。
- テレビやラジオなどに雑音が入る場合は離れた場所でお使いください。
- ワイヤレス充電器どうしを近づけないでください。端末を検出できず充電できない場合があります。
- 端末やケーブル、USB 充電器の接続端子部の変形や、導通性の異物 (金属片・鉛筆の芯・ピン・砂など) または液体 (汗・化粧水・飲料水等) が付着した状態でのご使用は、端子間が短絡 (ショート) し発熱や焦げの原因となり大変危険です。取り扱いには十分ご注意ください。また異変があった場合はご使用をおやめください。
- 端子を斜めに挿し込んだり、接続状態で上下左右に無理な力を加える等、端子への負荷はかけないでください。
- 付属の充電ケーブルは本製品以外では使用しないでください。
- お子様の手の届かないところでご使用、保管してください。
- 本製品の誤った取付け、または分解や改造してのご使用等による事故・故障・破損等の損害につきましては当社では一切その責任を負いかねます。
- 本製品を使用中、異臭、変形等の異常が起きた場合は、製品の使用を直ちにおやめください。
- 使用にあたっては周囲温度 (使用環境温度) が 0 ~ 45℃ の範囲でご使用ください。
- 本製品を使用中に万一機器の故障やメモリの消去、またバッテリーパックの破損等が発生した場合、当社では一切その責任、保証は負いかねます。予めバックアップをお取りになってからのご使用をお勧めします。埋め込み型心臓ペースメーカー等の医療用電気機器を装着されている方は、充電動作が医療用電気機器に影響を与える恐れがありますので、本製品のご使用にあたっては医師とよくご相談ください。

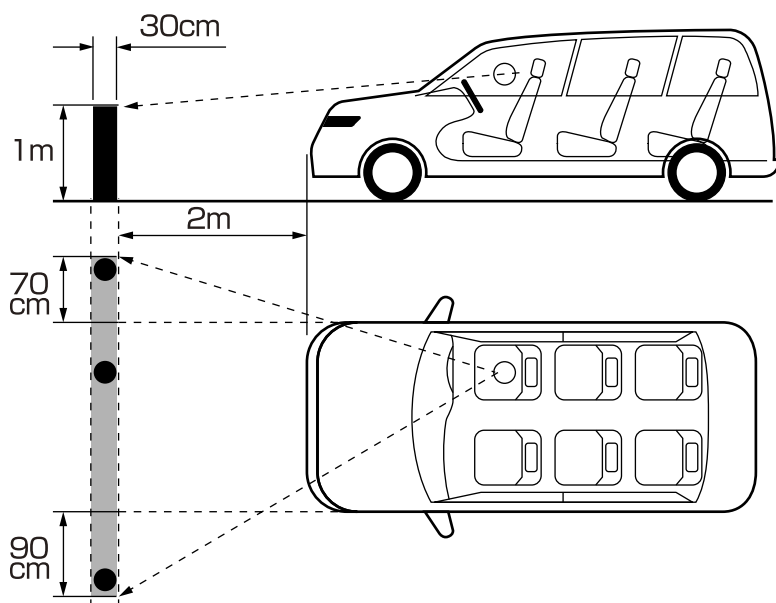
取付け位置について

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、下図のように、運転者の視界を妨げないように本製品を取り付けてください。また、フロントガラス、側面ガラスへの取り付けは、保安基準に不適合となりますので、絶対におやめください。下図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合、左右逆になります。

前方視界基準

<基準概要>

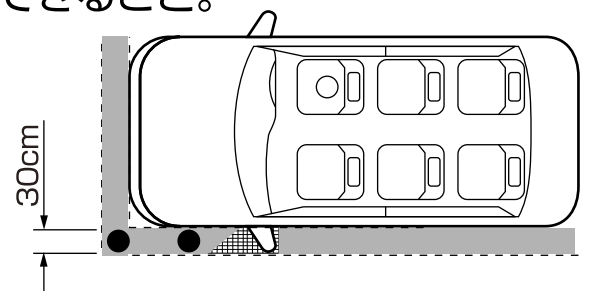
自動車の前方 2m にある高さ 1m、直径 30cm の円柱を鏡等を用いず直接確認できること。



直前直左視界基準

<基準概要>

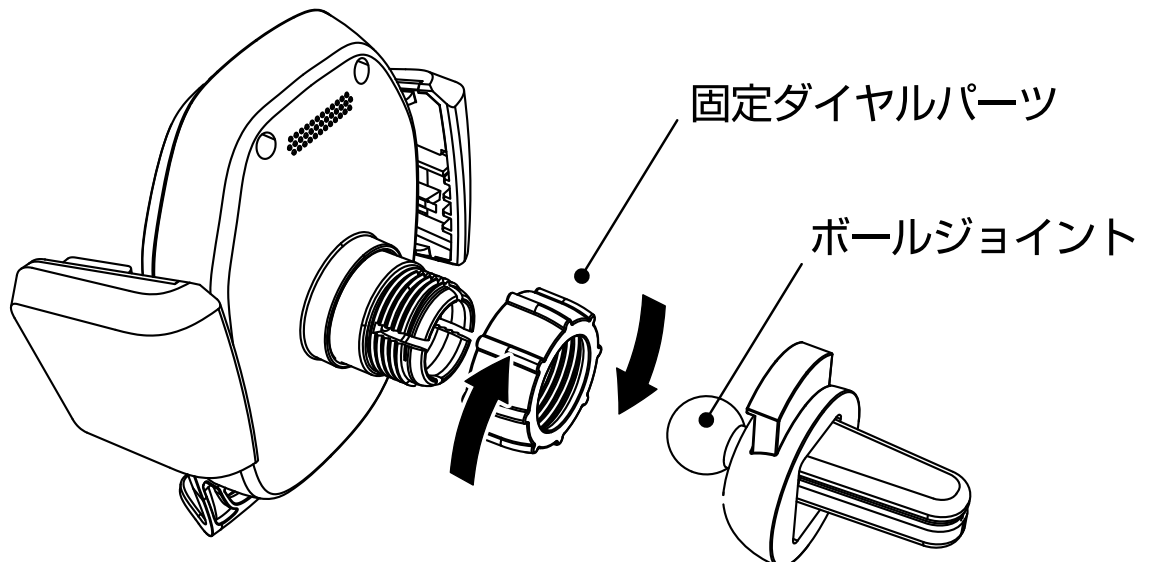
自動車の前面及び左側面（左ハンドル車にあっては右側面）に接する高さ 1m、直径 30cm の円柱を鏡等を用いず直接確認できること。



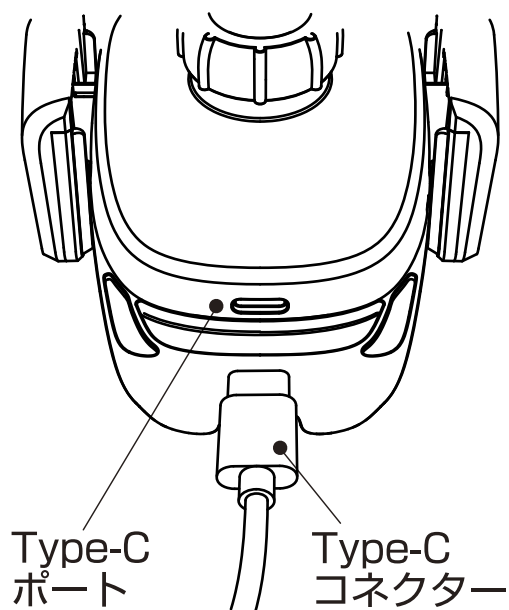
- : 運転視界基準エリア
- : 高さ 1m、直径 30cm の円柱
- ▨ : 適応外エリア
A ピラー及び室内後写鏡により視界が遮られるエリア

取付け方法

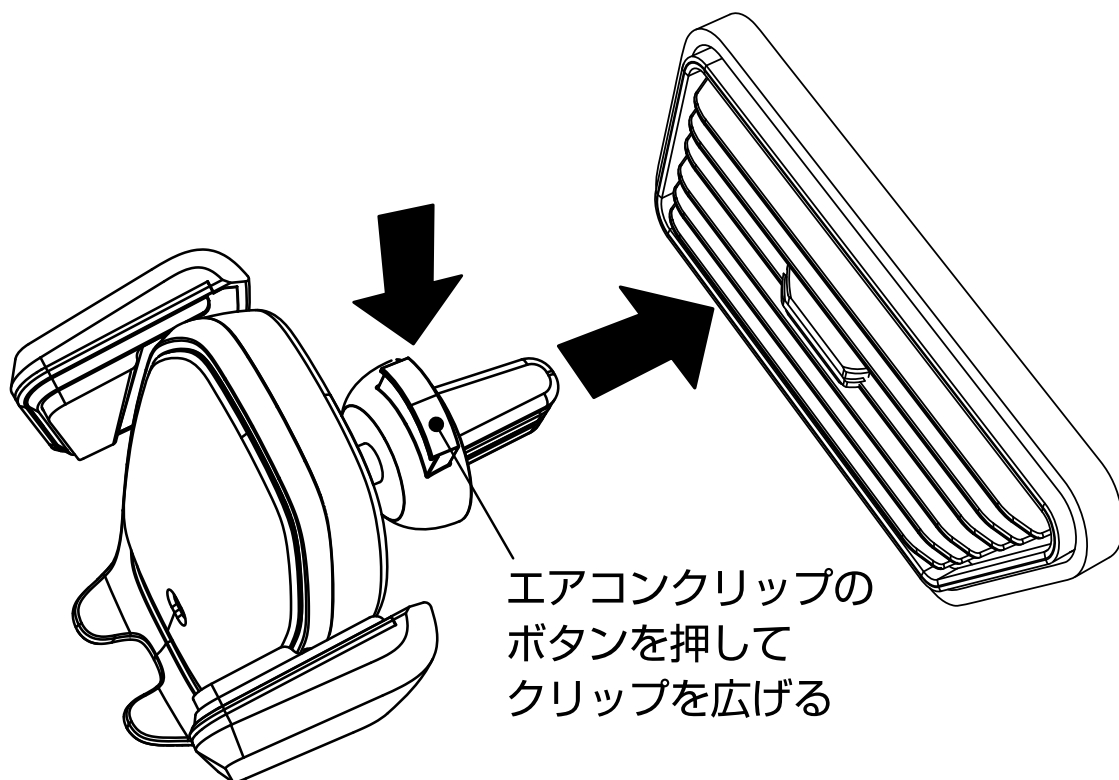
①ボールジョイントに固定ダイヤルパーツを差し込み、ダイヤルを締めてください。



- ②本製品に付属の充電ケーブル
(Type-C 端子) を本製品に
接続してください。



- ③エアコンフィンに対し水平になるようにゆっくりとエアコンクリップの
ボタンを押しながら、エアコンフィンに差し込みます。
ホルダーの角度を決定し、ダイヤルを回して固定してください。
※無理に差し込んだ場合、エアコンフィンが破損する恐れがありますので
ご注意ください。



使用方法

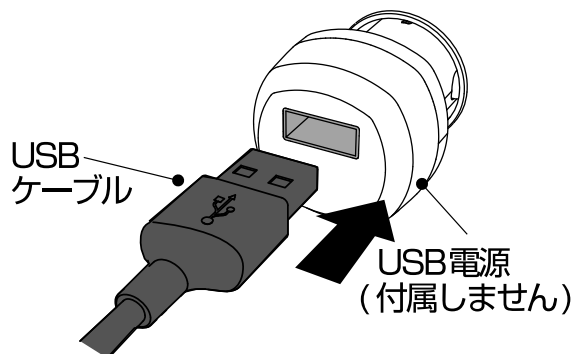
①本製品に付属の充電ケーブルのUSB 端子を USB 電源に接続します。本製品のインジケータが赤点灯します。

※本製品に USB 電源は付属していません。

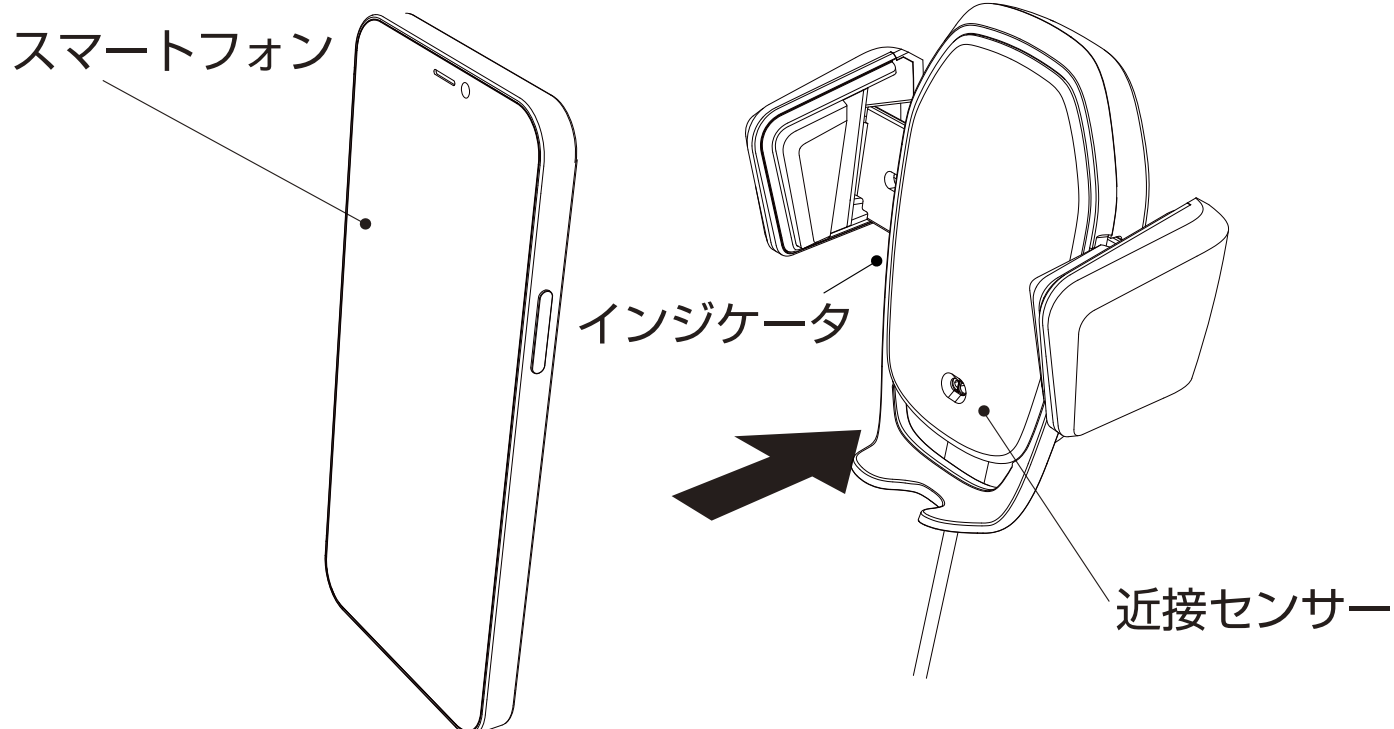
※本体に接続する USB 電源は定格 5V2A または QuickCharge2.0 以上をお使いください。5V2A 以下の充電器に接続すると正常に動作しない場合があります。

※7.5W/15W 急速ワイヤレス充電には QuickCharge2.0 以上の充電器が必要です。

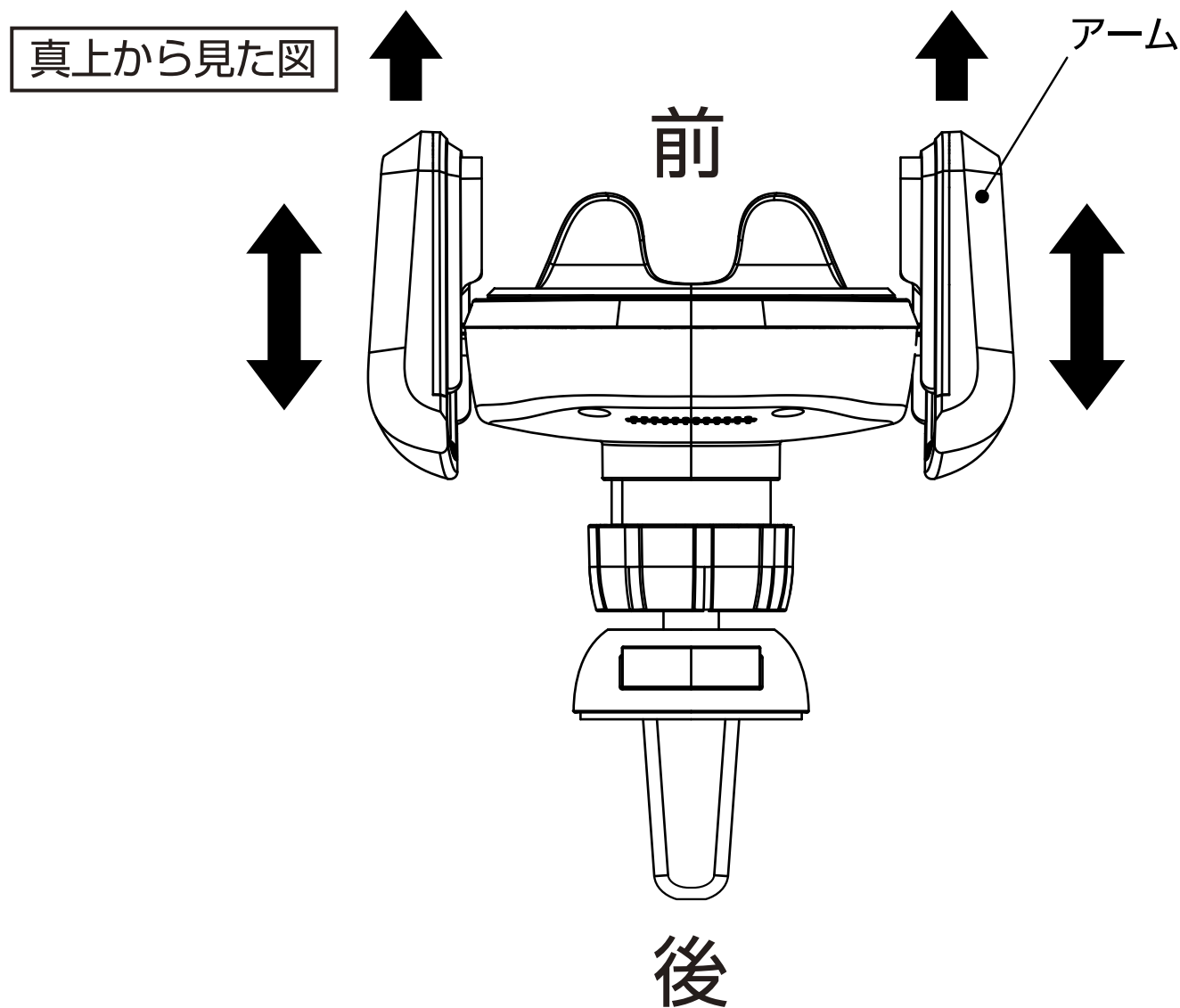
※充電ケーブルの端子はしっかり奥まで差し込んでください。



②本製品の近接センサーの付近にスマートフォンをかざすと、左右のアームが自動で開き、数秒後にアームが閉じます。端末(スマートフォン)をホールドすると、本製品のインジケータが青点灯し、充電を開始します。



- ③スマートフォンケースの厚みに合わせて、アームを調節してください。
 調節する場合は、スマートフォンを本製品から取り出した後、本製品の電源が入っていない状態で調節してください。電源が入っている時に無理に手で開閉すると故障の原因になりますのでおやめください。



※Galaxy 系のスマートフォンは満充電時にインジケータのランプが消灯します。

※端末の種類、OS のバージョンによっては、下表と異なる場合がございますが、故障ではございません。

	満充電時のインジケータのランプ色
Galaxy系のスマートフォン	青色点灯後、しばらくすると消灯
Android系のスマートフォン	青色点灯
iPhone	青色点灯

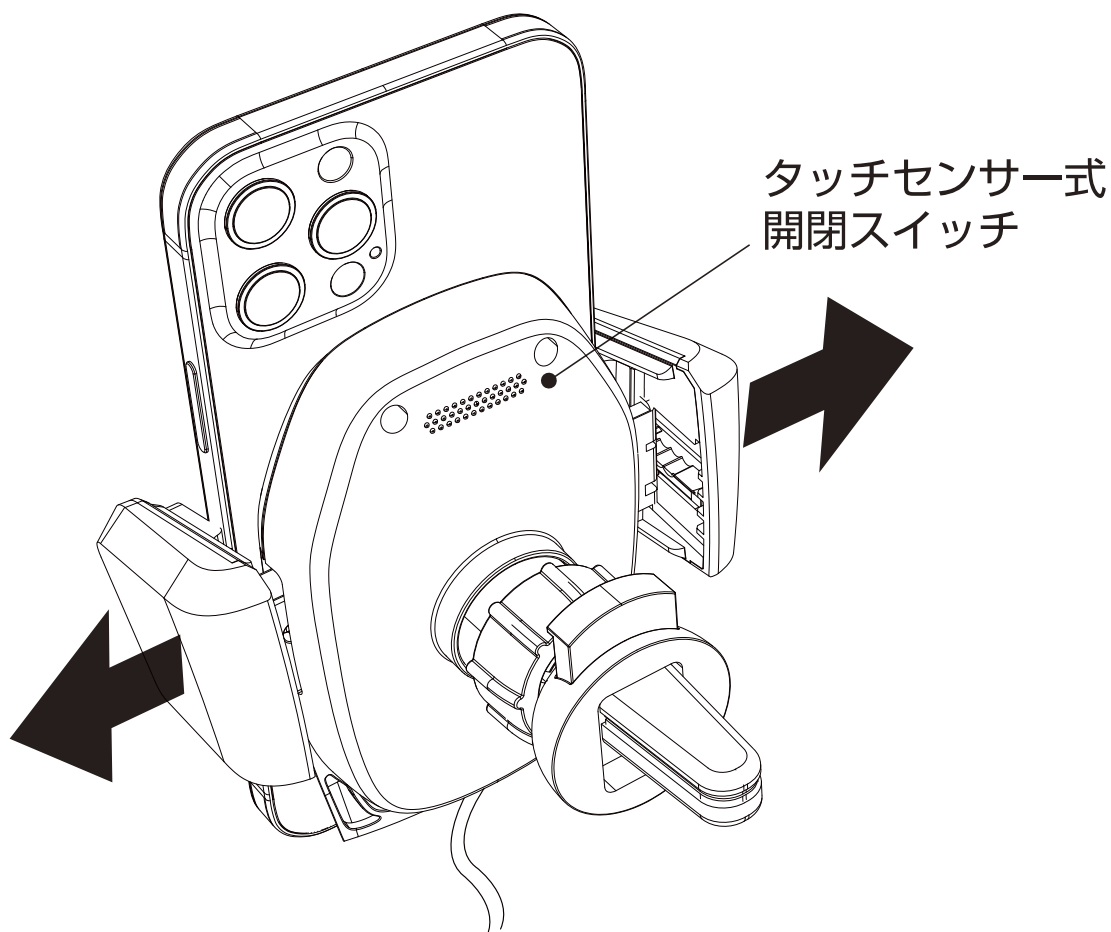
④取り外す場合は、本体裏側上部にある開閉スイッチに触ると、左右の
アームが自動で開き、数秒後にアームが閉じます。

※開閉スイッチには取り外す時以外は触れないでください。

スマートフォンが落下する恐れがあります。

※アームの開閉は電源が入っている時に行ってください。電源供給停止後、
数回の開閉は可能ですが、その回数は使用環境によって異なります。

電源が入っていない時に、無理に手で開閉すると故障の原因になります
のでおやめください。



※本製品と充電する端末の間に、金属や液体などの異物がないことをご確認ください。

※充電しない場合や本製品のインジケータが赤点滅（異物検出時等）、消灯した場合は、端末を本製品から一旦離し、本製品のLEDが赤点灯後に再度充電してください。

※インジケータが青点灯せず、赤点灯・赤点滅・赤と青の交互点灯の場合は、お使いのスマートフォンが本製品の適合機種であることを確認してください。（適合表は[こちら](#)）

また、電動式開閉アームをスライドさせてアーム先端が一番前に出る位置でもう一度お試しください。

※充電開始または充電完了の表示に関しましては端末の取扱説明書をご確認ください。

※充電時間は端末や充電環境により異なります。